

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

リハビリテーションと義肢装具のコラボを、世界に発信していきたい。



儀間 智 × 佐喜眞 保

ぎま さとる

学校法人智晴学園琉球リハビリテーション学院  
理事長。1962年、金武町生まれ。宜野座高校を卒業後、83年に愛媛十全医療学院に入学。卒業後に玉木病院を経て99年にごきげんリハビリクリニックを開設。2002年に琉球リハビリテーション学院を開校し、理事長に就任。現在に至る。

さきま たもつ

株式会社佐喜眞義肢 代表取締役社長  
1952年、宜野湾市まれ。普天間高校を経て68年に北海道の鉄工所に勤務。80年に福岡県身体障害者職業訓練校義肢装具士科を修了し、宜野湾市で開業。99年に「CBブレース」を開発し、特許を取得。2014年に本社を金武町に移し、現在に至る。

今月は、「海外雄飛の里」として知られる金武町からモノづくり・人材づくりを県外、海外に発信しているお2人に、それぞれの思いを語っていただきます。金武発の福祉事業を展開する2人の夢とは。

治療や予防にも有効な  
関節装具

儀間 佐喜眞社長と私のつながりは、浦添市にある整形外科の先生から紹介を受けたのが始まりでしたね。義肢装具士の資格を持つ佐喜眞社長が佐喜眞義肢を開業してい

できないことがあるということです。例えば広大な敷地や自然。いずれもリハビリテーションを行うには最適な環境です。私は以前から「リゾートリハビリテーション」というものにこだわっていましたので、那覇のような都会ではとてもできないようなことに一貫して取り組んでいます。また人材育成の観点から、2棟合計で213名収容可能な寮も整備しました。福祉に携わるには、いわゆるちむぐくるとやる気が不可欠です。その2つを持って入学してくる生徒に対して寮を用意し、しっかり学習できる環境を作った上で「一生懸命勉強すれば必ず国家試験に合格させてやる」という意気込みで職員一同やっています。

佐喜眞 弊社が移転した米軍ギンバル訓練場跡地には、儀間理事長も関わっている「金武リハビリテーションクリニック」が弊社に隣接しているほか「金武町ベースボールスタジアム」「金武町フットボールセンター」などのスポーツ施設も充実しています。また、海外資本のリゾートホテルが進出する話があるなど、儀間理事長が目指しているリハビリテーションの環境も整いつつあるように思います。私はこれまで医療福祉の分野を中心に事業展開していましたが、今は金武町を訪れる一流のアスリートを対象にしたスポーツの分野にも挑戦したいと思っています。誰もやらないことをしたくなるんですよ(笑)。

儀間 私もそうですよ(笑)。例えば、リハビリテーションの世界もどんどん多様化しています。私どもの学校では今年4月より「海洋療法リハビリテーション学科」を設け、マリンスポーツを通して行うリ

ハビリテーションを推進しています。また2014年、ぎんばるに開設した海洋療法リハビリテーションセンターでは、どんな障がいがあっても那覇空港にきていただければ、個別のマリンプログラムを提供するウエルネスツーリズムを行っています。さらに、医療保険の枠に囚われないニーズにも応えていきたいと思っています。そのためには、より高いレベルでの技術が求められますから、より高いレベルでの人材育成が私たちに求められているということでもあります。

沖縄のモノづくりを世界へ

佐喜眞 私はCBブレースの活用を通して、障害を持つ方でもスポーツを楽しんだり、アスリートが膝や肘のトラブルから早期回復を目指す手助けをしたいと思っています。この技術に対しては海外からの引き合いも少なからずありますので、沖縄のモノづくりをぜひ海外にも広げていきたいですね。そのためには現地技術者の育成も欠かせませんので、そこは儀間理事長の力をお借りしなければいけません。

儀間 先ほど佐喜眞社長にもご指摘いただきましたが、ここはスポーツ施設が充実している地域です。私どもも、従来の脳卒中による後遺症や変形性膝関節症などの障がいを持つ方のリハビリテーションに加えて、スポーツの分野においても佐喜眞社長とさらに連携を促進して県外、そして世界に発信していきたいというのが私の夢です。現在進行しているものでは、ベトナムにおける調査業務がありますよね。あちらは内戦の影響で、いまだに義肢や装具を必要とさ

らっしゃって、私は作業療法士として琉球リハビリテーション学院を運営しています。医療福祉業界の整形分野つながりということですね。佐喜眞社長は「CBブレース」という関節装具を開発されていて、それが世界的な広がりを見せていますよね。佐喜眞 CBブレースは膝や肘の関節障害に対する装具で、独自の特許構造である連結バーによって「支持性」「装着性」「軽量化」のすべてにおいて高いレベルを実現することができました。少し自慢めいてきますが、従来の装具だと「これをつけないと生活ができない」というマイナスのイメージがありましたが、CBブレースだと「これをつけたほうが楽だね」というプラスの発想になるんです。例えば変形性膝関節症の場合、「歳を取ったからしょうがないか」と諦める方も多いと思いますが、CBブレースを装着しながらリハビリテーションを行うと効果が上がるという報告はいくらでもあります。最近では、予防の段階から使用をお勧めする病院の先生も増えてきているんですよ。

儀間 予防という観点でいうと、いま国を挙げて予防医学に力を入れていますよね。そのためにも、CBブレースを使用したリハビリテーションはとても有効です。機能性

れている方が多いんですよ。

佐喜眞 これはJICAが途上国の課題を解決するための協力準備調査です。特殊な義肢装具を利用して途上国への開発支援を行うというもので、儀間理事長と1度現地調査に行ってきましたよね。これから本格的にモーションを掛けるところまできています。今年は、医療法人陽心会を中心とした総合的な医療生活リハビリテーションのシステムづくりもスタートします。これは国家事業として各国ごとにカスタマイズされたものになりますね。

儀間 医療と義肢装具に人材育成を掛け合わせて、それをセッットにして途上国の福祉環境を整備しようというものですよね。CBブレースを活用したりリハビリテーションを提供するために、現地の技術者を沖縄で育成します。そして祖国に帰って活躍してもらう。人材育成の拠点を沖縄に作るというところがポイントになります。

佐喜眞 病気の後遺症や事故などが原因で何らかの障がいを持つようになって、義肢装具を装着してリハビリテーションを行うことで多くの方の生活の質が向上しています。今後とも儀間理事長と一緒に、沖縄のリハビリテーションの仕組みというものを世界中に広げていきたいですね。

儀間 これまでの義肢装具士とリハビリテーション専門職との連携を、さらに発展させたいですね。多くの方をサポートできるモデル事業の推進と人材育成を金武から世界に発信していくことができる。すごく意義を感じますし、同時に幸せだなとも思っています。本日はありがとうございました。佐喜眞 こちらこそありがとうございました。

にすごく優れていて、それまで痛みが原因でできなかった動きができるようになります。動けるようになると弱っていた筋肉が強くなり、それまで思うようにいかなかった階段の上り下りなどもスムーズにできるようになるということですよね。佐喜眞 そういうことです。

多様化する  
リハビリのスタイル

佐喜眞 儀間理事長に関するお話はいろんな方から伺っていて「若いのにすごいことをする人がいるな」という印象を持っています。実際に弊社を金武町に移してから、儀間理事長が町内で運営している琉球リハビリテーション学院の専門学校としての在り方や若い人に夢を与える人材育成など、とても興味深いものがあります。

儀間 私は金武町で生まれ育ち「いつか地元に学校を作りたい」という夢をずっと持ち続けていました。そして2002年、いろんな方々の協力をいただいて医療福祉の専門学校を開校することができました。専門学科業界の先輩たちからは「儀間君、ホントに金武で大丈夫？」など心配のお声掛けもいただきましたが、逆にいうと金武でしか

|                                                                                                                                                                                         |                                                         |                                                     |                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <b>大道中央病院</b><br>那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)<br>リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050                                                                                                        | <b>医療法人 陽心会</b>                                         | <b>社会福祉法人 陽風会</b>                                   | (提携)小規模多機能型ホーム 若狭<br>那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 |
| <b>メディカルプラザ大道中央</b><br>那覇市字大道123 TEL.098-886-0007(代)<br>一般内科部門 TEL.098-886-0115<br>循環器部門 TEL.098-886-5141<br>糖尿病部門 TEL.098-886-0115<br>人工透析部門 TEL.098-886-5151<br>検診部門 TEL.098-886-0078 | <b>那覇市地域包括支援センター 若狭</b><br>那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165 | (提携)デイサービスセンター 若狭海岸<br>那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110 | (提携)グループホーム 若狭の家<br>那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551  |
| <b>介護老人保健施設 やすらぎの里</b><br>那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030                                                                                                                                  | (提携)福祉用具貸与・販売事業所<br>那覇市字大道128 TEL.098-885-0100          | (提携)デイサービスセンター 大道<br>那覇市字大道127 TEL.098-886-0066     | (提携)小規模多機能型ホーム 辻<br>那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070   |
| <b>グループホーム たかまーみの家</b><br>那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081                                                                                                                                   | (提携)有料老人ホーム 健寿の杜<br>那覇市安里1-47 TEL.098-941-0070          | (提携)有料老人ホーム 大道中央<br>那覇市字大道127 TEL.098-886-0061      | (提携)在宅総合ケアセンター 大道<br>那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030  |
| <b>小規模多機能型ホーム 大道</b><br>那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018                                                                                                                                     | (提携)有料老人ホーム 松風邸<br>那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557         | (提携)デイサービスセンター 若狭<br>那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122   | 訪問介護事業所<br>那覇市字大道128 TEL.098-885-0033             |
| <b>グループホーム 大道が丘</b><br>那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036                                                                                                                                      | (提携)ヒルズガーデン那覇<br>那覇市若狭3-5-17 TEL.098-885-0300           | (提携)有料老人ホーム 若狭<br>那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087      | ケアハウス 常夏の島<br>那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036        |
| <b>小規模多機能型ホーム 三原</b><br>那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027                                                                                                                                    | (提携)デイサービスセンター 松川<br>那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300        | (提携)有料老人ホーム 若狭別館<br>那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320    | 小規模多機能型ホーム 牧志<br>那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025     |
|                                                                                                                                                                                         |                                                         |                                                     | 那覇市末吉老人福祉センター<br>那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510    |
|                                                                                                                                                                                         |                                                         |                                                     | 那覇市壺川老人福祉センター<br>那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139     |
|                                                                                                                                                                                         |                                                         |                                                     | 那覇市辻老人憩の家<br>那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580          |